



閉館したホテルのネオン看板のアルファベットの一部「I」

インスタレーション
1957年



映像から切り出した画像をオーガンジー布にデジタル捺染、鉄、ハトロン紙、銀糸

インスタレーション
2018年

世界は異なる記憶が混ざり合い、層をなす空間である。たとえば、小ささまざまな記憶のスケールを空間に顕在化させ、触覚を伴いながら、世界を追体験できるような光景を生み出したいと考えている。

今回の個展では「入江」という考え方に目を向けた。入江は、内海と外海との境界が曖昧で、混沌としたエネルギーに満ちつつも、穏やかな場所である。そして、外海に泳ぎ出る前の生物の成育に欠かせないナーサリーエリアという顔を持つ。これまでの領域横断的な制作で軸としてきた「布」と「映像的な連なり」に加え、入江のほとりにあった祖父母が建て、一昨年閉館したホテルのネオン看板なども素材としたインスタレーションを展開する。

個展タイトル：in the nursery 逸話ではないもの
会場：崇仁ギャラリー
会期：2018.4.28-5.13